平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３０３ ※記入不要	提案機関名	神奈川県内水面養殖業者協議会

要望問題

コイのヘルペスウイルス病対策の充実

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

コイのヘルペスウイルス病は日本では、茨城県で平成15年に初めて発生が認められて以来、本疾病によるコイの大量死が全国各地の養殖場に留まらず、河川においても発生し問題となっています。コイのヘルペスウイルス病は特定疾病であり、その蔓延を防止するため、ウイルスの検査及び防疫対策が必要となっています。今後、県内におけるコイのヘルペスウイルス病の蔓延を防ぐとともに、コイ養殖業者への被害の拡大を防止するために本疾病の迅速診断手法の開発及び防除対策手法の開発を要望します。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産総合研究所内水面試験場
部　　署：	水産総合研究所内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

水産動物保健対策事業

対応の内容等

独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所の主導により、平成16年６月にコイヘルペスウイルス病研究会が発足し、本疾病の対策研究がスタートしました。

本県は、この研究会に参加し、参加機関と連携して迅速診断手法の開発及び防除対策手法の開発について取り組みます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考